

1 教育目標及び子ども像・教職員像・学校像

教育目標
心豊かに たくましく 生きる力を育成する
目指す子ども像
<ul style="list-style-type: none">・自ら求め、自ら学ぶ生徒・心身ともに健康で、感性豊かな生徒・友情を育み、人間としてお互いに尊重し合う生徒 ※ 上記とは別に、小中一貫教育としての「西ノ京中学校区の目指す子ども像」を策定。
目指す教職員像
<ul style="list-style-type: none">・学校教育目標を共通理解し、自ら創意工夫ある教育活動に取り組み、結果に責任を持つ教職員・生徒・保護者・地域の信頼に応えられる資質向上に向け、自ら積極的に研究・研修を行う教職員・お互いに同僚意識を持って楽しく協働し、凡事徹底・切磋琢磨する教職員集団
目指す学校像
<ul style="list-style-type: none">・生徒、保護者、教職員から「学校が楽しい」「教育活動に満足」「教職員が熱心に、一人ひとりを大切にして教育活動に取り組んでいる」と評価される学校・保護者、地域からの安心と信頼を前提に、主体性をもって教育活動を推進する学校

2 学校経営方針

1. ベテランと中堅・若手教員一体となった学校組織の活性化
<ul style="list-style-type: none">・ベテラン教員の経験と、中堅・若手教員の研修成果の相互刺激による「学び」の授業づくり・前年度踏襲ではない、教科、係、分掌活動の活性化
2. 社会の持続的な開発・発展を担う生徒に必要な「生きる力」の共通理解
<ul style="list-style-type: none">・地域、社会の出来事や実生活に結び付いた事象の積極的な教材化・生徒に自己理解を深めさせ、主体的な活動を通して自己有用感を高める生徒集団づくり
3. 小中一貫教育の推進
<ul style="list-style-type: none">・義務教育9年間の「学び」と「育ち」の一貫に向け、校区4小学校との連携・協議の活性化
4. 地域ぐるみの教育の充実
<ul style="list-style-type: none">・学校運営協議会・PTAとの連携・協力を通して、地域に開かれ、地域に支えられた学校づくり

3 今年度、徹底する取組

<ul style="list-style-type: none">・定期テストや確認プログラム結果について各教科による検証と改善目標の全体化・朝のあいさつ運動、授業の初めと終わりのあいさつの徹底・「告げ口訪問」「言い訳訪問」「謝罪訪問」ではない「家庭訪問」の推進・総合的な学習(MCタイム)と各教科・道徳・特活との連携・教科横断を体系化した年間計画の策定・教職員の服務や分掌関係の書類提出(期限)の徹底
--

4 学校教育の計画

(1)「確かな学力」の育成に向けて

重点目標

1. 「めあて」提示から「振り返り」までの 50 分の授業を大切にし、
各種調査で全市水準 5 ポイント上をめざす
2. 「探究」「言語活動」を意識した学習指導計画・評価計画に基づき、
生徒一人ひとりの「学び」を実現する授業を実践する

具体的な取組

- 学習規律（授業の始まりと終わりのあいさつや話す・聞く態度）の指導を徹底し、言語活動を重視した学習活動を推進する。
 - ・各教科や総合・道徳等の授業で小集団による話し合い活動を積極的に導入し、「共に学び、活用する力を高める学習」を展開する
 - ・教科会での協議・研修を充実させ、定期テスト・確認プログラム等の結果の検証を行うとともに、自主的な授業公開で指導力向上を図る
 - ・小学校との交流を深め、授業・研究発表等を積極的に参観し、指導内容・方法の一貫をめざす
- 生徒一人一人に自ら学ぶ意欲を高めさせ、目的意識を持って主体的に学習する態度を育て、学ぶことの楽しさや成就感を持たせる。
 - ・朝の「ベシックタイム」、放課後や定期テスト前、長期休業中の学習会をより効果のあるものに工夫・充実させ、土曜学習で「英語検定」「漢字検定」などを積極的に実施する
 - ・家庭学習の習慣化に向け、「学び方」の指導を充実し、学習プリント教材の提供、確認プログラム(予習・復習シート含む)などを計画的に活用する

(2)「豊かな心」の育成に向けて

重点目標

確かな人権感覚と豊かな感性、規範意識・自己有用感を高める指導を充実する

具体的な取組

- ・すべての教育活動において「自分を大切にし、人を大切にする」認識と実践的態度を培う
- ・生徒・教職員・地域全体で、明るく元気に挨拶する取組(登校時のあいさつ運動など)を推進する
- ・学校行事などに関連付けた年間計画に基づく道徳では、4 人班での話し合い活動を充実・実践する
- ・学年・学級・生徒会・部活動などを通し、生徒の自尊感情・自己有用感を高める指導を推進する
- ・一人一人の生徒の背景や課題を見つめ、生徒理解の徹底と心の通った生徒指導で、いじめ・問題行動を生み出さない集団づくりを行う
- ・「非行防止教室」「性教育講演」「赤ちゃん講座」や地域の大人との交流(「しゃべり場」など)を通して、心豊かな自分の生き方を考えさせる
- ・各種掲示物を効果的に活用し、文化・教養・好奇心あふれる空間づくりに努める。

(3)「健やかな体」の育成に向けて

重点目標

心身ともに健康な生活を営むための態度を育てる ―「早寝・早起き・朝ごはん」90%の実現―

具体的な取組

- ・朝の健康観察や定期的な生活点検により、バランスの取れた朝食を重点課題として基本的な生活習慣の確立（食事、運動、休養、睡眠の調和のとれた生活）を図る
- ・柔道を含めた体育で、心と体を一体として、運動に親しむ資質や能力を育て、体力向上を図る
- ・保健室・SCを柱に、担任とも連携して、心や身体の悩みに対する個別指導や健康相談を推進する
- ・講師を招いて、性（エイズを含む）問題、防煙・薬物乱用防止の指導を推進する
- ・「勝利」を目標としつつも、生涯スポーツを楽しむことを目的とし、生徒一人ひとりの達成目標を設定して運動系部活動を推進する
- ・食に関する教育の一環として、毎月の給食申込書・献立配布時に「食だより」を発行する
- ・年2回の避難訓練をより実践的のものとし、「生きる力」「生きぬく力」を育てる防災教育を推進する

5 「小中一貫教育」における9年間の教育目標と目指す子ども像

9年間の教育目標

義務教育9年間を通じた「学び」と「育ち」の中で、下記の「子ども像」の実現をめざす
平成21年度に、朱雀第二・第四・第六・第八小学校と確認

9年間で目指す子ども像 義務教育9年間を通じた「学び」と「育ち」の実現

身に付けさせたい6つの態度

- ①話を静かに聞くことができる。 ②指示を受け止めて行動ができる。 ③あいさつができる。
④正しい言葉づかいができる。 ⑤清掃活動(整理整頓)ができる。 ⑥自学自習(読書)ができる。

育てたい4つの能力

- ①基本的な生活習慣能力(規範意識、早寝・早起き・朝ごはん)
②コミュニケーション能力(言語活動の充実も含む)
③主体的な学習能力(粘り強く、継続して)
④自己決定力(自己判断・自己責任)

具体的な取組

年3回の協議会と出前授業や体験授業に向けた教科会、課題別の連絡会などで、幅広い情報交換と学習指導や生徒理解について共通認識を図る。

小中相互の授業参観の機会を増やし、顔の見える関係づくりを行う。